

第 4 章

保健福祉業務関係

第4章 保健福祉業務関係

1 母子保健

(1) 小児医療援護

ア 小児慢性特定疾病医療費支給認定

小児慢性特定疾病に指定されている疾病にかかっている18歳未満(継続申請に限り20歳未満)の児童が、指定医療機関で治療を受けたときの費用を支給した。(保護者の所得に応じた自己負担金を医療機関において支払)

(単位:件)

疾病	計	悪性 性 新 生 物	慢性 性 腎 疾 患	慢性 性 呼 吸 器 疾 患	慢性 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 液 疾 患	免 疫 疾 患	神 経 ・ 筋 疾 患	慢性 性 消 化 器 疾 患	う 症 候 群	染色体 又は 遺伝子 に変化を 伴	皮 膚 疾 患
平成27年度	77	8	10		20	19	2	6	2	1		5	4			
平成28年度	72	9	8		20	19	2	3	2	1		3	5			
南足柄市	27	3	2		5	11	2	1	2			1				
中井町	6	1	1		2			1					1			
大井町	14				5	5				1		1	2			
松田町	4	2	1		1											
山北町	5	1	1		1								2			
開成町	16	2	3		6	3		1				1				

イ 不妊に悩む方への特定治療支援事業(経由事務)

県等の指定した医療機関で、特定不妊治療(体外受精または顕微授精)を受けた夫婦から、治療費の助成の申請書類を受理し、内容を確認のうえ、県健康増進課あて送付した。(助成限度額の範囲内で、治療費の全額または一部を助成)

	申請者数	申請延件数	助成延件数
計	51	69	69
南足柄市	24	34	34
中井町	5	6	6
大井町	3	5	5
松田町	4	5	5
山北町	1	1	1
開成町	14	18	18

(2) 養育支援事業

疾病等により長期にわたり療養を必要とする児や未熟児等による養育上の課題を持つ児及びその保護者等が地域で健康的な生活をするために、関係機関と連携し適切な支援を行うことで、児のすこやかな発育発達を促進させ、併せて養育環境を整えるために次の事業を実施した。

ア 訪問指導

実数	延数
8	12

イ 所内指導(電話相談、面接等)

	実数	延数
小児特定疾病	51	64
その他	56	131

ウ 子ども発達専門相談

発育・発達面で課題があり、療育及び養育上支援を必要とする乳幼児及び保護者に対し、医師、歯科医師、心理相談員、理学療法士、歯科衛生士、管理栄養士、保健師等による指導を行うことにより、疾病・障害等の早期発見・回復及び適切な療育の確保を図った。

(単位:件)

開催回数		7	
来所者数	実数	23	
	延数	50	
把握契機(実数)	センター 足柄上	小児慢性特定疾病	1
		長期療養児	4
		その他	5
	町市	未熟児	3
		その他	10
	医療機関		0
	その他		0
相談目的(延数)	成長	43	
	発達	46	
	疾病	12	
	栄養	16	
	生活	30	
	未熟児	0	
	養育	3	
その他		23	

処遇 (延数)	終 結	5
	再 受 診	42
	家 庭 訪 問	0
	電 話 確 認	1
	医 療 機 関 紹 介	2
	市 町	0
	そ の 他	2

エ 聴覚専門相談

聴覚障害を早期に発見するとともに、児の言語発達への不安を持つ保護者のサポートや児の早期療育に向けた支援を行うため言語聴覚士による相談指導を実施した。

開催回数	相談者数		相談契機			処遇			
	実数	延数	市町	HWC	保護者	終 結	再 予 約	医療機関 紹 介	市 町
3	9	12	6	3	0	0	9	2	1

オ 集団指導

医療的ケアを必要とする児の交流会

医療的ケアを必要とする児と保護者を対象に、参加者同士、育児に関する悩みや思いを共有し、交流を行うことで、育児不安やストレスの緩和を図る。

対象:医療的ケアを必要とする児とその保護者

開催日	内 容	スタッフ	参加者数
平成 28 年 5 月 26 日	ふれあい遊び 交流会	保育士・保健師・管理栄養士 歯科衛生士	5 組 9 人 (児 2, 母 5, 兄弟姉妹 2)
平成 28 年 7 月 28 日	ふれあい遊び、交流会、 災害のこと	保育士・保健師・管理栄養士 歯科衛生士	5 組 10 人 (児 4, 母 5, 兄弟姉妹 1)
平成 28 年 11 月 10 日	ふれあい遊び、交流会 クリスマス会、歯のお話	保育士・保健師・管理栄養士 歯科衛生士	6 組 9 人 (児 2, 母 6, 兄弟姉妹 1)
平成 29 年 2 月 23 日	ふれあい遊び、交流会 災害について	保育士・保健師・管理栄養士 歯科衛生士	5 組 8 人 (児 2, 母 5, 兄弟姉妹 1)
計 4 回			実 10 組 17 人 延 21 組 36 人

カ すこやか親子担当者等連絡会

地域保健・母子保健の立場から児童虐待の未然防止に係る取組みを推進するために、所内関係者による連絡会を実施し、処遇検討や所内の体制整備等について検討した。

開催回数 3回

キ 子どもグループ活動(生活福祉課主催)

長期学校休業期間に実施している子どもグループ(被保護世帯における子どもの発達支援事業)への支援を行った。

計6回 77人

ク 妊産婦とその家族への禁煙支援事業

地域で禁煙をすすめる気運を高め、子どもたちがたばこの煙のない環境で生活ができることを目的に、平成17年度より3年間実施してきた事業成果をふまえ、平成20年度からは「たばこを吸わない世代を育てよう！小さい頃から伝えよう たばこの正しい知識」をスローガンに禁煙の普及啓発を行っている。

28年度も継続して、管内幼稚園・保育園から協力を得て、幼児期への防煙教育の推進に係る普及啓発を行った。

また、平成20年度から開始している妊産婦とその家族の喫煙状況調査により父親の喫煙率が妊娠出産を機に変化がなく高率であった。父親向けの禁煙支援リーフレットを母子保健委員会にて意見を集約して作成した。

内容	実施期間	内 容	参加者数等
普及啓発	平成28年 5月31日～ 6月6日	あしがら禁煙キャンペーンの実施 ○街頭キャンペーン ○庁内でのキャンペーン ・展示:たばこに関する知識とオリジナルグッズ ・リーフレット、ゆらゆら金太郎、オリジナルメモ等の配布	街頭キャンペーン 458部 がん検診普及啓発キャンペーン 51部
	平成28年 6月4日～ 6月12日	庁内及び管内市町イベントにて普及啓発資料の配布 ・あじさいまつり	リーフレット等配布 1000部
	平成28年5月	管内保育園・幼稚園への普及啓発 在園年長児への防煙教育普及啓発用ぬりえ・リーフレットの配布依頼	管内幼稚園・保育園に配布 ぬりえ 1210枚 リーフレット 1270枚配布
	平成28年 12月4日	南足柄市健康フェスタ	ゆらゆら金太郎 24個 きんえん塗り絵 8枚配布
	平成28年12月	平成29年分 禁煙金太郎カレンダー配布	管内全幼稚園、保育園、子育て支援センター、各保健福祉事務所・センター 1市5町に配布(72部)

	平成28年4月～	介護事業所職員へリーフレットの配布	191枚
	常設	・たばこに関する情報掲示（ゆらゆら金太郎、ぬりえ、オリジナルメモ、メッセージ集配布） ・所内のぼり旗の設置	—
		所内ホームページの更新	—
教育相談	随時	各種母子保健事業において実施	—
調査	平成27年4月～ (平成28年度も実施)	1市5町において「足柄上地域妊産婦とその家族への禁煙支援のための実態把握」(平成20年4月～開始) 平成27年分集計	母子健康手帳交付時201名 妊娠期間753名 育児期間中 ・3か月児健診時647名 ・1.6歳児健診時760名 ・3歳児健診時781名
研修	平成29年 3月16日	母子保健担当者研修 「妊産婦とその家族への禁煙支援事業の評価について～平成20年度から27年度の傾向分析」 講師 東海大学医学部基盤診療学系公衆衛生学 非常勤准教授 渡辺 良久	10名
関係機関会議	平成28年 6月29日	第1回 子育て支援に係る担当者会議	1部 12名 2部 22名
	平成28年 10月20日	第3回 子育て支援に係る担当者会議	1部 13名 2部 11名
	平成29年 3月16日	第4回 子育て支援に係る担当者会議	9名

(3) 妊娠・出産支援体制づくり事業

妊娠、出産しやすい環境づくりのための周知啓発や、児童虐待のハイリスクである望まない妊娠等に焦点をあてた研修会を開催した。

(単位:人)

開催日	内容	講師	参加者数
平成28年 8月15日	妊娠期からの切れ目のない子育て支援の重要性について	北里大学看護学部 生涯発達看護学 准教授 新井 陽子 氏	18
平成28年 10月21日	児童虐待予防に向けた妊娠期からの切れ目のない支援について	日本体育大学 准教授 南部 さおり 氏	27

(4) 母子保健委員会

保健福祉事務所及び管内1市5町が実施する子育て支援事業が円滑に行われるために、各機関の役割を理解するとともに効果的な連携について検討し、管内の母子保健施策の向上を図った。

ア 母子保健委員会

(単位:人)

開催日	内 容	場 所	委員数
平成29年2月22日	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健活動の実施状況について 妊産婦とその家族への禁煙支援事業について 妊娠期からの切れ目のない子育て支援について 	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	14

イ 子育て支援に係る担当者会議

(単位:人)

開催日	内 容	場 所	参加者数
第1回 平成28年6月29日	第1部 <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度母子保健事業について 妊娠期からの切れ目のない子育て支援について 妊産婦とその家族への禁煙支援事業について 	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	12
	第2部 <ul style="list-style-type: none"> 各所における今年度の母子保健事業について 妊娠期からの切れ目のない子育て支援について 妊産婦とその家族への禁煙支援事業について 		22
第2回 平成28年8月31日	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期からの切れ目のない子育て支援について 	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	9
第3回 平成28年10月20日	第1部 <ul style="list-style-type: none"> 妊娠期からの切れ目のない子育て支援について 妊産婦とその家族への禁煙支援事業について 	足柄上病院	13
	第2部 <ul style="list-style-type: none"> 妊期からの切れ目のない子育て支援について 		11
第4回 平成29年3月16日	<ul style="list-style-type: none"> 今年度及び次年度の母子保健事業の取り組みと課題について 妊娠期からの切れ目のない子育て支援について 妊産婦とその家族への禁煙支援事業について 	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	9

(5) 思春期保健事業

思春期の男女を対象として、思春期に特有の身体と性の不安や悩みに対する相談に応じるとともに、学校の養護教諭と連携し思春期にある男女の心身の健全な成長を図った。

ア 思春期相談

実績なし

イ 思春期保健研修会

管内の高等学校の養護教諭を対象として、地域と学校が連携を密に図りながら、思春期特有のさまざまな問題に対応するため、思春期保健に関する共通の課題に係わる専門的な知識について、小田原保健福祉事務所と合同で研修を行った。

(単位：人)

開催日	内 容	場 所	参 加 者	参加者数
平成 28 年 11 月 28 日	今どきの高校生の性の問題 東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 准教授 渡會 睦子 氏	小田原保健 福祉事務所	県西地区高等学校・養護学校の養護 教諭、児童相談所・保健福祉事務所・ センター保健師、市町保健師	19

(6) 生涯を通じた女性の保健相談等事業

ア 健康相談

女性は女性固有の機能を有するため、特に、思春期から更年期にかけて各自の健康状態に応じ、生涯を通じた健康の保持増進に対する自己管理ができるよう支援を行った。

(ア) 一般相談 16 件

(イ) 専門相談 相談回数 3 回 11 件(平成 28 年 7 月 1 日、11 月 4 日、平成 29 年 3 月 3 日)

(単位:件)

件 数	相談方法別			相談回数別(実人員)			相談者別		相談契機別			
	電 話	面 接	その他	初 回	2 回	3 回以上	本 人	他	広 報	市 町	当所事業	そ の 他
11		11		9		2	11		7		4	
区分	件数 (実数)	主 訴 別 (延数)										
		妊娠	避妊	不妊	性	メンタル ケア	婦人科	更年期	性感染	泌尿器	その他	
計	11					6	4					1
10 歳代												
20 歳代												
30 歳代	1					1						
40 歳代	3					3						
50 歳代	2					1						1
60 歳代以上	5					1	4					

イ 健康教育

正しい「妊娠・出産」「妊娠適齢期」「女性特有のがん」「喫煙の害」など、正しい知識と情報を提供すると共に、将来を見通しライフプランを考えることができるよう普及啓発を図った。

実施日	実施場所	対象	参加者数	備考
平成 28 年 4 月 15 日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	看護学生・栄養士学生・ 歯科衛生士学生	38 名	男 1 名 女 37 名
平成 28 年 6 月 9 日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	子育て中の女性等	65 名	男 9 名 女 48 名 不明 8 名
平成 28 年 9 月 2 日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	看護学生・栄養士学生・ 歯科衛生士学生	40 名	男 9 名 女 31 名

2 歯科保健

歯及び口腔の健康づくりを推進するため、委員会の開催や地域で活動する人材育成を行った。また、う蝕や歯周疾患の予防のための事業及び障害のある方や在宅療養者等に対しては、合わせて摂食機能発達支援等も実施した。

また、昨年度に引き続き、口腔ケアに係る地域連携を推進するため、モデル病院の看護職員を対象に、地域口腔ケア連携推進事業を実施した。

(1) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町が実施している幼児歯科健康診査等の事業と連携し、重度う蝕につながるリスク要因を保持すると思われる幼児を早期に把握し、う蝕の多発・重症化を抑制するための歯科検診、保健指導及び予防処置等を実施し、リスク要因の低減化を図った。

ア 歯科検診・予防処置等の実施状況

(単位:人)

実施回数	受診者数(延)			予防処置者数(延)				
	計	初診数	再診数	計	フッ化物	フッ化物液みがき	フッ化ジアンミン銀	
							3歯まで	4歯以上
47	298	102	196	281	102	4	37	138

イ 初診者の把握経路

(単位:人)

市町名	計	市町事業				保健福祉事務所事業
		1.6歳児	2歳児	歯科教室・相談	その他	
計	102	43	23	7	25	4
南足柄市	42	18			24	
中井町	10	5	4		1	
大井町	23	9	9	3		2
松田町	8	5	2	1		
山北町	7	3	2	1		1
開成町	12	3	6	2		1

ウ 初診者のう蝕り患状況

(単位:人)

市町名	計	う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし
計	102	19	19	64
南足柄市	42	8	7	27
中井町	10	6		4
大井町	23	2	7	14
松田町	8			8
山北町	7	1	3	3
開成町	12	2	2	8

(2) 障害児者等歯科保健事業

障害児等は歯科疾患にかかりやすく治療には困難を伴う場合も多いことから、早期から継続的に歯科検診・歯科保健指導・予防処置等を実施した。さらに摂食・嚥下機能発達の支援が必要な児への「食べ方相談」も行った。

ア 歯科検診・予防処置等の実施状況

(単位:人)

実施回数	受診者数		実施内容内訳(延数)					
	実人数	延人数	口腔内診査	歯科保健指導	予防処置	摂食相談・指導	その他	
個別	33	25	67	54	45	34	23	
集団	6	34	58	40	51			
計	39	59	125	94	90	34	23	

※母子保健の子ども発達専門相談と同日実施の内容も含む

イ 年齢別受診状況

(単位:人)

区分	合計	6歳以下	7～19歳	20歳以上
初診	31	31		
再診	94	90	4	

(3) 歯周疾患予防対策事業(歯ぐき検診)

セルフケア技術・生活習慣に関わる知識の普及及び定期検診受診を推進するために、成人(主に妊産婦)を対象として、歯周疾患予防を目的とした口腔内診査や歯科保健指導を実施した。

ア 歯科検診・保健指導

(単位:人)

実施回数 (回)	受診者数		
	計	男性	女性(うち妊婦)
8	27		27(21)

イ 疾患状態別状況(初診)

(単位:人)

年齢区分	計	健康	歯肉出血	歯石沈着	浅いポケット	深いポケット	機能喪失	その他
計	27	1	8	7	10	1		
20～29歳	8	1	2	2	3			
30～39歳	14		4	4	6			
その他	5		2	1	1	1		

ウ 歯間部清掃用具の活用推進

実施回数	総計	保健福祉事務所歯科保健事業参加者	健康づくり団体関係者	その他	従事者数	
					歯科医師	歯科衛生士
5	78		34	44		5

(4) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅療養者の自立と介護支援の一環として、QOL(生活の質)の向上をめざした口腔内清掃や、口腔諸機能の維持・回復を図る機能訓練などの口腔ケアを訪問して行った。

ア 訪問状況

(単位:人)

訪 問 者 数							延 従 事 者 数	
実人数	延 人 数						歯 科 医 師	2
	計	6歳以下	7~19歳	20~39歳	40~64歳	65歳以上	当所歯科衛生士	1
2	2	2					委嘱歯科衛生士	

イ 疾患別訪問状況

(単位:人)

市町名	計	慢性疾患児・障害児	特定疾患	脳血管疾患後遺症	認知症	その他
計	2(2)	2(2)				
南足柄市						
中井町						
大井町	1(1)	1(1)				
松田町						
山北町						
開成町	1(1)	1(1)				

※実人数(延人数)

(5) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、管内の歯及び口腔の健康づくりにかかる事項について関係機関・団体等と検討、協議して、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図るため、委員会を開催した。

ア 歯及び口腔の健康づくり推進委員会・小委員会開催状況

(単位:人)

区分	開催日	内 容	出席者数
小委員会	平成28年9月6日	第1部母子関連 1 現状と課題について 2 管内における摂食機能発達支援体制の強化について 3 その他 第2部成人・高齢者関連事項 1 現状と課題について 2 地域口腔ケア連携体制の推進について 3 住民参加型の介護予防と8020運動推進員の活用について 4 その他	13 (事務局含む)

委員会	平成 29 年 1 月 26 日	1 足柄上地域の歯科保健事業実施状況について 2 管内における摂食機能発達支援体制の強化について 3 8020 運動推進員の活用について 4 その他 (1)地域口腔ケア連携推進事業の報告 (2)歯周病予防対策事業「歯ぐきの検診」について (3)災害時歯科保健対応について	16 (事務局含む)
-----	------------------	---	---------------

(6) 歯の健康づくり事業(健口かながわ5か条の普及)

生涯にわたる歯と口腔の健康を保持増進するために、子どもから高齢者まで全ての世代に共通し、県民自ら取り組む行動目標として掲げた「健口かながわ5か条」を、健康教育及び歯科保健指導時に合わせて、リーフレット等を用いて普及啓発を行った。

(単位:人)

普及対象	母子	学童・生徒	成人	老人	その他	不明	総計
普及人数	37		133	26	107	84	387

(7) 8020運動推進員養成事業

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、8020運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するために養成された 8020 運動推進員に対し、管内市町及び関係機関・団体等と連携して、推進員が自主的な活動を円滑に実施できるよう育成研修を実施した。

ア 8020運動推進員養成研修受講状況(健康増進課主催)

(単位:人)

市町名	南足柄市	中井町	大井町	松田町	山北町	開成町	計
受講者数	2	4		1	2	5	14

イ 8020運動推進員育成研修開催状況

開催日	内 容	講師	参加者数(人)
平成 28 年 11 月 18 日	1 講義 「8020運動と推進員」 「口の機能とその老化」 「くち体操の基本実技」 2実習 お口の自己チェック、舌媒体の案作成	当所歯科医師・歯科衛生士	8020 運動推進員 5 市町職員 1 他所職員 2
平成 29 年 1 月 12 日	1講義 「口と脳神経」「くち体操の応用実技」 「お口きれい＝病気の予防」 2実習 お口の自己チェック、舌媒体活用練習	当所歯科医師・歯科衛生士	8020 運動推進員 13 他所職員 1
平成 29 年 3 月 2 日	1講義 「健康・健考・健口～地域展開するためのヒント」 2実習 お口の自己チェック、発表会	東京医科歯科大学大学院 非常勤講師 白田千代子氏 当所歯科医師・歯科衛生士	8020 運動推進員 10 足柄歯科衛生士会 5 市町職員 2 他所職員 1 その他 5

(8) 健康教育

市町等からの依頼に応じて、健康教育を実施。

月	対象	区分	参加者数	内容件数(複数計上)				
				う蝕予防	歯周病予防	口腔機能発達支援	高齢者・療養者口腔ケア	その他
7	開成町子育てフォーラム	母子	19	1		1		
7	松田町社協おーい元気会ミニデイ	老人	15		1	1		
7	松田町社協おーい元気会ミニデイ	老人	16		1	1		
7	松田町社協おーい元気会ミニデイ	老人	13		1	1		
9	大井町生活習慣病予防セミナー	成人	8	1	1	1		1
11	ママのためのスマイル講座	母子	14	1		1		
12	若い世代向けの料理教室	成人	17		1			
計			102	3	5	6		1

(9) 人材育成

歯科保健に関する人材育成

	実施回数	人数(延数)
南足柄市食生活改善推進団体研修会	1	27
食生活改善推進員養成講座	1	7
開成町健康普及員定例会・研修会	1	9
地域歯科衛生士会活動支援	2	30
専門摂食機能発達支援研修会	1	11
愛知県歯科口腔保健推進研修(災害対策)	1	171
計	7	255

(10) 地域口腔ケア連携推進事業

病院を起点とした地域口腔ケア連携推進のため、地域歯科医師会の協力を得ながら、モデル病院の看護職員等を対象に口腔ケアに関する研修及び技術支援を行った。

ア 研修

(単位：人)

実施日	内容・講師	参加者数
平成 28 年 8 月 31 日	1 講演「摂食嚥下機能の低下や虚弱等を来たした患者への食支援アプローチについて」 講師：地域栄養ケア PEACH・江頭 文江 氏 (管理栄養士、摂食嚥下アドバイザー)	15
平成 28 年 9 月 12 日	2 講演「摂食嚥下機能の低下や虚弱等を来たした患者への食支援アプローチについて」 講師：高橋 寿江 氏 (管理栄養士)	16

イ ベッドサイドにおける口腔ケアの助言・指導(延数)

実施回数	助言・指導実施患者数	助言・指導実施看護職員数	見学者		助言者
			病院職員	地域関係者	足柄歯科医師会 1名(3回) 足柄歯科衛生士会 1名(5回) 当所歯科職 3名
5	19	18	11		

(11) 三歳児歯科健康診査結果(参考資料)

平成9年度より管内市町で実施している。

市町名 年度	対象者	受診数 (率)	う蝕有病 者数 (率)	う 歯 数			一人平 均う歯 数	う蝕の型別分類(人数)				
				総数	未処 置歯	処置 歯		A型	B型	C1型	C2型	D型 (再掲)
平成24年度	860	839 (97.6)	110 (13.1)	417	373	44	0.50	81	18	3	8	11
平成25年度	903	873 (96.7)	107 (12.3)	336	316	20	0.38	82	21	1	3	14
平成26年度	867	862 (99.4)	140 (16.2)	523	452	71	0.61	97	39		4	10
平成27年度	814	789 (96.9)	98 (12.4)	363	329	34	0.46	69	26	1	2	7
平成28年度	791	781 (98.7)	96 (12.3)	321	299	22	0.41	71	21	1	3	16
南足柄市	329	329 (100.0)	33 (10.0)	119	115	4	0.36	21	10		2	7
中井町	40	44 (110.0)	6 (13.6)	18	18		0.41	6				1
大井町	113	111 (98.2)	21 (18.9)	69	65	4	0.62	17	3		1	3
松田町	61	59 (96.7)	10 (16.9)	39	39		0.66	6	4			3
山北町	72	68 (94.4)	8 (11.8)	18	15	3	0.26	7	1			
開成町	176	170 (90.6)	18 (10.6)	58	47	11	0.34	14	3	1		2

(注) う蝕の型別分類

- A 型 上顎前歯部のみ、または臼歯部のみとう蝕がある者
- B 型 上顎前歯部および臼歯部とう蝕がある者
- C1 型 下顎前歯部のみとう蝕がある者
- C2 型 下顎前歯部と他部位とう蝕がある者
- D 型 6本以上う蝕がある者(神奈川県独自で重度う蝕者として再掲する)

3 栄養改善活動

地域の総合的な栄養・食生活対策の推進を図るため、関係機関・団体等と連携し、地域食生活対策推進協議会を開催した。また、健康増進法に基づき、特定給食施設等に対し、給食運営や栄養管理の充実のため個別指導や講習会等を行うとともに、栄養表示の普及啓発に向け、栄養表示普及啓発講習会、食品製造業者を対象とした栄養表示適正化指導を実施した。

(1) 栄養・食生活対策事業

ア 栄養・食生活対策推進事業

(ア) 地域食生活対策推進協議会・部会開催状況

地域における総合的な食生活対策の推進を図ることを目的に、地域食生活対策推進協議会、部会を開催した。

(単位:人)

区分	開催日	内容	参加者数
協議会	平成29年2月22日	・災害時の食環境整備 ・食からの循環器疾患対策の評価について	21
部会	平成28年11月16日		13

(イ) 栄養・食生活対策支援事業

栄養改善をはじめとする健康づくりや生活習慣病予防などの普及啓発のために、食品や食生活に関する知識や実践技術の教育を行った。

区分	集団指導		備考
	回数	参加者数	
栄養・食生活対策推進事業	6	230	子どもグループ 他
栄養指導技法の開発・提供等	2	—	媒体作成に対する助言
市町業務支援	6	—	かながわ方式保健指導 食生活改善推進員養成講座
計	14	230	

(ウ) 地域人材の育成

○ 地域栄養士等指導事業

地域で活動する在宅栄養士の指導等を行った。

区分	開催回数	参加者数
在宅栄養士研修	8	72
行政栄養士等指導	3	11

○ 地区組織等の育成

食生活改善推進団体「いくみ会」等のボランティアが組織的に活動を展開できるようリーダーの育成指導を行うとともに、資質向上のための研修会等の援助を行った。

区分	開催回数	参加者数
食生活改善推進員リーダーの育成指導	18	1,078
地域リーダーなど育成指導	1	30

(エ) 管理栄養士の臨地実習指導

区分	コース数	学生数	期 間	養成施設名
臨地実習生 (管理栄養士等)	5	3	平成28年5月 9日 ～ 13日	県立保健福祉大学
		4	平成28年6月 6日 ～ 10日	鎌倉女子大学
		2	平成28年9月26日 ～ 30日	文教大学
		3	平成29年1月30日～2月3日	関東学院大学
		3	平成29年2月13日 ～ 17日	相模女子大学

イ 専門的栄養指導・食生活支援事業

社会の変化に伴い、食生活や生活習慣に起因するところが大きい慢性疾患や長期療養の必要がある疾患が増加していることから、それらの疾病の重症化を予防し、生活の質の向上をめざした食事療法を実践するための教育、技術の改善を推進した。

(ア) 専門的栄養指導

○ 各種疾病別栄養指導教室

疾病の予防、治療の両面から、食生活の正しい知識及び実践技術の指導を行った。

教室名	対象疾患名	コース数	延日数	延参加者数
医療的ケアの必要な児交流会	その他	1	4	36

○ 食生活相談

疾病を有する患者等に対して、病状や生活状況に応じた個別相談を行った。

(単位:件)

疾病名	実人数	延人数	糖尿病 合併症	脂質異常症・ 肥満合併症	難病	ハゲスル児	高齢者等の 低栄養	下痢・便秘・ 胃腸症状
相談 件数	37	81	0	3	1	51	10	16

(イ) 食生活支援担当者等研修会

地域での食生活支援に関わる行政職員や食生活改善推進員等に対し研修を行った。

実施日	実 施 内 容
平成28年 6月24日	講演「明るく楽しい厨房から健康づくりを発信しよう!!～どうせやるなら楽しもう～」 参加者 食生活改善推進員、市町関係者等 9名
平成28年 11月29日	講演「日本食品成分表 2015年版(七訂)の改訂と活用のポイントについて」 参加者 食生活改善推進員、市町関係者等 17名
平成29年 2月22日	事例発表及び講演 「働く世代への食育～事業所給食を通じた健康づくりへの取り組みについて～」 参加者 食生活改善推進員、市町関係者等 9名

ウ 栄養表示等適正化推進事業

(ア) 普及啓発講習会

区 分	集 団	
	回 数	人 数
事業者 (食品衛生責任者講習会)	2	172
消費者	6	118
合計	8	290

(イ) 事業者に対する表示適正化指導（健康増進法）

区 分		内 容	健康増進法			合計
			特別用途食品	特定保健用食品	虚偽誇大表示	
事前相談・指導	件数	0	0	0	0	
	延回数	0	0	0	0	
適正化指導	件数	0	0	0	0	
	延回数	0	0	0	0	
	改善確認数	0	0	0	0	

(ウ) 事業者に対する表示適正化指導（食品表示法）

区 分		食品表示法							合計
		栄養表示			栄養機能食品		機能性表示食品		
		加工食品	生鮮食品	添加物	加工食品	生鮮食品	加工食品	生鮮食品	
事前相談・指導	件数	6	0	0	0	0	0	0	6
	延回数	11	0	0	0	0	0	0	11
適正化指導	件数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延回数	0	0	0	0	0	0	0	0
	改善確認数	0	0	0	0	0	0	0	0

- (エ) 消費者からの相談 0 件
- (オ) 表示食品調査 0 件
- (カ) 立入調査・収去（健康増進法・食品表示法） 0 件

(2) 特定給食等指導事業

健康増進法・県条例等に基づき、給食施設に対して栄養管理等の上で必要な援助、指導を行い、喫食者や職員などの生活習慣病予防対策の推進や、健康・栄養教育の支援を行い、地域の健康づくりを推進した。

ア 特定給食施設等講習会・種別講習会

給食施設の従事者、管理者等を対象に衛生管理、栄養管理等に関する認識を深め、給食を通して給食利用者の健康増進を図るため講習会を実施した。

区分	実施回数	開催日	参加施設数	参加者数	内容
計	2	—	99	111	—
全体講習会	2	平成28年 6月24日	54	65	講演「給食施設の衛生管理について」 講師 当所 生活衛生課 食品衛生監視員 講演「明るく楽しい厨房から健康づくりを発信しよう!! ～どうせやるなら楽しもう～」 講師 北里大学 非常勤講師
		平成28年 11月29日	45	46	「日本食品成分表 2015 年版(七訂)の改訂と活用のポイントについて」 講師 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 講師

注 特定給食施設…1 回 100 食以上又は 1 日 250 食以上の食事を供給する施設(健康増進法第 20 条第 1 項)

イ 健康増進法第18条第1項第2号に基づく給食施設指導

(単位:件)

	対象施設数	内 訳				指導回数計
		管理栄養士 のみ	管理栄養士 及び栄養士	栄養士 のみ	未配置施設	
指 定 管 理 施 設 管 理 施 養 士 必 置	学 校					
	病 院	2	1	1		2
	介護保健施設					
	老人福祉施設					
	児童福祉施設					
	社会福祉施設					
	事 業 所	3	2	1		3
	寄 宿 舎					
小 計	5	3	2		5	
1 回 300食以上又は 1日750食以上 (指定施設を除く)	学 校	15	6	1	8	15
	病 院	1		1		1
	介護保健施設					
	老人福祉施設					
	児童福祉施設					
	社会福祉施設					
	事 業 所	3			2	3
	寄 宿 舎				1	
小 計	19	6	2	10	19	
1 回 100食以上又は 1日250食以上 (指定施設を除く)	学 校	6	2		4	6
	病 院					
	介護保健施設	3	1	2		5
	老人福祉施設	3		3		4
	児童福祉施設	10	1		6	11
	社会福祉施設	1	1			1
	事 業 所	6			1	6
	寄 宿 舎				5	
小 計	29	5	5	11	33	
そ の 他 の 給 食 施 設	学 校	4			1	4
	病 院	2		2		2
	介護保健施設					
	老人福祉施設	4	1	1	1	4
	児童福祉施設	4	1		1	4
	社会福祉施設	4			2	4
	事 業 所	9				9
	寄 宿 舎	4				4
	そ の 他	6			2	6
小 計	37	2	3	7	37	
合 計	90	16	12	28	94	

注 管理栄養士必置指定施設

- 1 医学的な管理を必要とする者に食事を供給する特定給食施設であって、継続的に1回300食以上又は1日750食以上の食事を供給するもの(病院、介護老人保健施設)
- 2 1以外の管理栄養士による特別な栄養管理を必要とする特定給食施設であって、継続的に1回500食以上又は1日1,500食以上の食事を供給するもの(福祉施設、事業所等)

(3) 地域保健活動推進者研修事業

ア 地域保健活動推進研修(食育研修)

地域において、食育及び栄養・食生活対策を推進する市町及び関係機関・団体等の栄養士等を対象に研修を実施した。

(単位:人)

開催日	主 な 内 容	参加者数	対 象 者
平成29年 2月22日	事例発表及び講演 「働く世代への食育 ～事業所給食を通じた健康づくりへの取り組みについて～」 講師 日本女子大学家政学部食物学科 教授	27	地域の食育担当者、給食施設の関係者、行政機関の食育関係者等

(4) 栄養情報の収集とその活用

ア 国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査

調査地区	調査日	調査対象世帯数	調査実世帯数	調査内容
該当地区無し				

イ その他 調査・研究

調査・研究名	内容(目的、方法、成果等)
管内災害対策の現状について	<p>【目的】 管内の災害対策の現状を把握する</p> <p>【方法】 特定給食施設：平塚保健福祉事務所秦野センター作成の「給食施設のための備えセルフチェック表」を巡回時に配布、講習会等で回収 市町：「災害時栄養・食生活支援活動ガイドライン」の中で、平常時の役割についてどこまで出来ているか項目ごとに確認を行った</p> <p>【成果】 現状を把握し、各関係者で共有することが出来、今後の方向性を検討する資料となった。</p>
食からの循環器疾患対策についての評価	<p>【目的】 平成27年度に実施した「食事の傾向に関するアンケート調査」についての評価を行うため</p> <p>【方法】 各市町、いくみ会に対して、質問項目に対して電話での聞き取り</p> <p>【成果】 方法や内容等でよかったという意見が大半であったが、栄養士の配置状況によって調査結果の活用状況に差があった</p>

4 がん・健康増進

管内市町の効果的な健康増進事業実施を支援するため、担当者会議や市町村ヒアリングを行うと共に、「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ、がん検診受診率の向上を目指して県民や企業事業主等にごがん検診の普及啓発を行った。

(1)健康増進事業、特定健診・特定保健指導担当者会議

平成 27 年度の事業実績評価と健康増進事業実施方法の情報交換を実施した。

(単位:人)

開催日	内 容	参加者数
平成29年1月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度健康増進事業、特定健診特定保健指導について ・大井町における「かながわ方式保健指導促進事業」について 	13

(2)健康増進事業の自己評価のヒアリング

市町の健康増進事業の自己評価のヒアリングを通して、地域の現状を把握し、必要時、健康増進事業が円滑に行えるように支援を行った。

実施日	内容	会場	出席者	
			市町	当所
平成 28 年 7 月 5 日	健康増進事業の自己 評価に係るヒアリング	南足柄保健医療福祉 センター	南足柄市健康づくり課 保健師3名	保健福祉課 (課長・ 保健師)
平成 28 年 7 月 8 日		山北町保健福祉 センター	山北町健康づくり課 保健師 2名	
平成 28 年 7 月 12 日		中井町保健福祉 センター	中井町健康課 保健師3名	
平成 28 年 7 月 14 日		松田町役場	松田町子育て健康課 課長1名、保健師2名	管理企画課 (保健師)
平成 28 年 7 月 21 日		開成町役場	開成町保険健康課 課長1名、保健師2名	
平成 28 年 7 月 21 日		大井町保健センター	大井町保健福祉センター 保健師2名	

(3)がん検診普及啓発セミナー

がん検診受診率の一層の向上を目指して、市町、保健福祉事務所、関係団体等が協働して、がん検診受診の啓発活動を行った。

ア がん検診普及啓発キャンペーン

(単位:人)

開催日	内容	参加者数
平成 28 年 6 月 9 日	・ マンモグラフィー搭載検診車(ピンクリボン車)の見学	36
	・ 乳房しこり触診体験	38
	・ 市町のがん検診情報提供	41
	・ たばこと健康、唾液でわかる肺クリーン度チェック	39
	・ 特定健診、肌水分量測定	40
	・ スタンプラリー、アンケート	65
	・ 生命保険会社 CSR(企業の社会的貢献)	

イ がん検診普及啓発セミナー

(単位:人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
平成28年 11月21日	足柄上地域民生委員・児童委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 「子宮頸がんを体験して ～大切なあなたに伝えたいこと～」 ・ がん検診を受けましょう ・ 講演及び体験 「笑う健康法～笑うヨガを体験しよう～」 	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん体験者 緒方 真子 氏 ・当所保健師 ・Dr.カタリア・スクール・オブ・ ラフターヨガ認定ティーチャー 山田 さく 氏 	27

(4)地域企業におけるがん検診受診促進事業

地域の企業、事業所等におけるがん検診の受診促進を図るため、既存事業や会議等を活用して、受診率の向上を目指した。

ア 関係機関との連絡調整

健康増進事業1市5町ヒアリング、地域保健師業務連絡会議、管内介護保険担当者会議、健康増進事業・特定健診・特定保健指導担当者会議等

イ がん検診普及啓発用リーフレット(がん検診情報)の作成・配布

2市8町(足柄上センター・小田原保健福祉事務所管内)の協力を得て、各市町の検診項目・対象者・実施方法・連絡先等についてリーフレットとしてまとめ、啓発の際に配布した。
健康増進課作成の雇用主向け・従業員向けリーフレットを併せて配布した。

ウ 既存事業を活用した集団指導による啓発

(ア)食品衛生責任者講習会等

ミニ講話・リーフレット配布・スライドショーの放映等 3回 331人

(イ) 全国労働衛生週間小田原地区推進大会 180人
(小田原保健福祉事務所と合同実施)

エ 一般向けがん検診普及啓発用ポスターの配布
住民が一定の時間とどまって利用する職域の店舗や事業所に対して啓発用ポスターを配布した。

オ 介護保険事業所実地指導時の個別面接による啓発
実施期間 平成28年7月7日～平成28年11月24日
実施状況 7事業所18サービスで実施
(保健師担当分)
方法等 事業主、責任者等に事業所におけるがん検診の実施状況の確認と診勧奨を行った。
リーフレット配付441枚。

カ 調査
オで個別面接による啓発をした事業所に、その後の取り組みについてのアンケートを実施した。
7事業所18サービスに実施し、全事業所から回答を得た。

5 介護保険推進事業

介護給付対象サービスの質の確保と保険給付の適正化を図るため、介護保険指定事業者等の指導を行った。

(1) 事業者等指導

管内の老人保健施設や介護保険指定事業者等の施設、設備、人員及び運営状況等について、介護保険法に基づく指導を行った(医療系みなし指定事業所を除く)。

ア 集団指導

介護保険指定事業者等に対して、介護給付サービスの取扱い、介護報酬請求の内容、事業運営上の注意点等について、県高齢福祉課及び各保健福祉事務所・センターと共催で次のとおり講習会を開催した。なお、当所管内の事業所の参加状況は次のとおりだった。

開催日	対象事業所数	実施事業所数
平成28年5月10・11・12・17・18・19・20日	113(58)	108(54)

注()書きは介護予防事業所で外数

イ 実地指導

介護保険指定事業者等の事業所において、指定基準等に基づいて、帳簿類等関係書類の閲覧や関係者からの面談による実地指導を実施した。

介護保険施設等の区分	対象事業所数	実施事業所数
計	113(58)	42(17)
指定訪問介護事業	16(7)	5(2)
指定訪問入浴介護事業	2(2)	
指定訪問看護事業	6(6)	4(4)
指定訪問リハビリテーション事業	1(1)	1(1)
指定通所介護事業	17(14)	9(4)
指定通所リハビリテーション事業	2(2)	2(2)
指定短期入所生活介護事業	8(8)	
指定短期入所療養介護事業	3(3)	2(2)
指定特定施設入居者生活介護事業	6(5)	2(2)
指定福祉用具貸与事業	5(5)	
指定特定福祉用具販売事業	5(5)	
指定居宅介護支援事業	33	15
指定介護老人福祉施設	6	
介護老人保健施設	3	2

注1 ()書きは介護予防事業所で外数

注2 対象事業所数は、平成28年4月1日現在

ウ 県・市町介護保険担当者会議

(単位:人)

開催日	内 容	参加者数
平成28年6月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度介護保険指定事業者等に対する実地指導の実施状況について ・平成28年度介護保険指定事業者等に対する実地指導の実施計画(案)について ・市町村が行う地域密着型サービス事業者等の指定に関する県の指導監督等について 等 	18

6 地域福祉事業

(1) 民生委員児童委員

民生委員児童委員は、社会奉仕の精神を持って、自主的に社会福祉の増進に努めるとともに、公的援助の実施に協力することを本来の使命としており、その活動を強化するため、各種の会議、助成を実施した。

ア 民生委員児童委員活動状況

区分 市町名	民生委員児童委員 委員定数	相談件数	活動件数	訪問回数
平成 26 年度	229 (14)	3,619	33,415	49,155
平成 27 年度	231 (14)	3,562	32,194	52,720
平成 28 年度	231 (14)	3,173	31,667	51,345
南 足 柄 市	61 (4)	1,650	7,924	13,658
中 井 町	25 (2)	235	3,102	5,535
大 井 町	38 (2)	343	6,826	7,061
松 田 町	37 (2)	341	4,199	7,665
山 北 町	37 (2)	317	4,765	8,940
開 成 町	33 (2)	287	4,851	8,486

注 ()内は主任児童委員で内数

イ 代表者会議の開催

管内民生委員児童委員の役員等に情報提供等を行った。

開 催 日	内 容
平成 28年 4月 25日	保健福祉事務所足柄上センターの業務の情報 ・要援護者安否確認の情報提供のしくみづくり ・神奈川県地域福祉支援計画について
平成 28年 9月 26日	保健福祉事務所足柄上センターの業務の情報 ・足柄上地域の民生印児童委員の活動報告状況について(平成27年度統計より) ・がん検診普及啓発セミナーの情報提供
平成 28年 12月 13日	保健福祉事務所足柄上センターの業務の情報 ・足柄上地域の民生委員児童委員の活動状況の特性について ・民生員児童委員の一斉改選後の足柄上地区ブロック民生員児童委員協議会運営について

(2) みんなのバリアフリー街づくり条例の普及啓発

神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例および、圏域別普及・啓発事業の実施要領に基づき、誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりを推進するため、次世代を担う児童を対象とした事業を企画した。

交通バリアフリーを切り口に、児童が体験を通じて感じたことや、これから自分たちにできることを考え、ともに生きることのできる社会について考える機会となるよう、学童保育利用の小学生を対象にバリアフリー出前体験講座を小田原市足柄下郡、南足柄市足柄上郡各1ヶ所で実施した。県西保健福祉圏域の学童保育に公募し、応募中当選した2ヶ所の学童保育にて開催した。

開催日	内容	講師	参加者
平成28年8月18日	バリアフリー出前体験講座 (南足柄市・和田河原学童保育対象) [県西保健福祉圏域事業／小田原保健福祉事務所主催]	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部職員	小田原市・和田河原学童保育在籍児童 31名
平成28年8月19日	バリアフリー出前体験講座 (小田原市・下曾我小学校学童保育対象) [県西保健福祉圏域事業／小田原保健福祉事務所主催]	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部職員	小田原市・下曾我学童保育在籍児童 10名

(3) 地域福祉の推進(地域福祉コーディネーター事業)

地域福祉の推進のため、地域福祉コーディネーター養成研修を実施した。

開催日	内容	講師	参加者
平成28年 7月13日	「松田町民生委員児童委員協議会研修への地域福祉コーディネーター養成研修プログラム(HUG 体験研修プログラム)の提供」 [小田原保健福祉事務所足柄上センター、松田町共催]	当所管理企画課職員 当所保健福祉課職員	松田町民生委員児童委員(主任児童委員2名を含む)等 36名
平成28年 12月13日	平成28年度在宅医療推進事業・地域福祉コーディネーター事業 講演『安心と信頼を身近な地域で』 [県西保健福祉圏域事業／小田原保健福祉事務所、小田原保健福祉事務所足柄上センター主催、一般財団法人小田原医師会、一般社団法人足柄上医師会、一般財団法人小田原歯科医師会、一般社団法人足柄上歯科、公益	全国在宅療養支援診療所連絡会会長、 医療法人社団つくし会理事長・新田クリニック院長 新田 國夫	県西保健福祉圏域の行政機関職員、関係専門機関等の職員 77名

	社団法人小田原薬剤師会、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町共催]		
平成 28 年 12 月 16 日	<p>地域福祉コーディネーター事業・かながわ成年後見推進センター事業 「後見社会を足柄につくる」</p> <p>第 1 部 講演「上伊那成年後見センターでの取り組み」 第 2 部 足柄の担い手によるシンポジウム</p> <p>[小田原保健福祉事務所足柄上センター、足柄上地域自立支援協議会、神奈川県社会福祉協議会かながわ成年後見推進センター共催]</p>	<p>《第 1 部講師》 長野県伊那市社会福祉協議会 上伊那成年後見センター所長 矢澤秀樹</p> <p>《第 2 部コーディネーター》 社会福祉法人唐池学園 障害者支援施設貴志園 地域支援部門施設長 田中 晃</p> <p>《第 2 部パネリスト》 長野県伊那市社会福祉協議会 上伊那成年後見センター所長 矢澤秀樹</p> <p>足柄上手をつなぐ親の会 会長 湯川富美子</p> <p>社会福祉法人明星会竹の子学園総合施設長 坂井正志</p> <p>大井町介護福祉課長 豊田陽美</p> <p>松田町社協日常生活自立支援事業専門員 青木淳子</p>	<p>県西保健福祉圏域の障害福祉、医療・介護関係職種、行政機関職員等 一般住民、障害当事者及びその家族等 54 名</p>
平成 29 年 2 月 8 日	<p>平成 28 年度在宅医療推進事業・地域福祉コーディネーター事業 講演『おひとりさまの終活～安心して生まれ、暮らし、最期を迎えるために』</p> <p>[県西保健福祉圏域事業／小田原保健福祉事務所、小田原保健福祉事務所足柄上センター主催、一般財団法人小田原医師会、一般社団法人足柄上医師会、一般財団法人小田原歯科医師会、一般社団法人足柄上歯科、公益</p>	<p>ノンフィクションライター 中澤まゆみ</p>	<p>県西保健福祉圏域在住の県民等 84 名</p>

	社団法人小田原薬剤師会、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町共催]		
平成 29 年 2 月 10 日	「中井町民生委員児童委員地域福祉コーディネーター養成研修」 講演・演習『傾聴の基本を学ぶ～地域のコミュニケーションは、傾聴から始まる～』 [小田原保健福祉事務所足柄上センター、中井町共催]	NPO 法人シニアセラピー 研究所理事長 鈴木しげ	中井町民生委員児童委員、中井町地域福祉関係団体、ボランティア、一般町民等 43 名
平成 29 年 2 月 14 日	平成 28 年度在宅医療推進事業・地域福祉コーディネーター事業「県西地域の在宅医療・介護を考える」 ・講演 『『安心して住み慣れた我が家で最後まで』を支えたい！～訪問看護と暮らしの保健室の活動から～』 ・質疑・意見交換 [県西保健福祉圏域事業／小田原保健福祉事務所、小田原保健福祉事務所足柄上センター主催、一般財団法人小田原医師会、一般社団法人足柄上医師会、一般財団法人小田原歯科医師会、一般社団法人足柄上歯科、公益社団法人小田原薬剤師会、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町共催]	(株)ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括 所長、 暮らしの保健室 秋山 正子	県西保健福祉圏域の医療・介護関係職種、行政機関職員等 80 名

7 母子父子寡婦福祉資金の貸付

母子家庭等の経済的自立と生活の安定のため、母子、父子及び寡婦福祉資金の貸付けを行った。

(単位:件)

区分		計	事業開始	事業継続	技能習得	就職支度	住宅	転宅	医療介護	生活	修学	就学支度	修業	結婚	児童扶養
市町名															
計	母子	39			1					2	14	20	2		
	父子	4									2	2			
	寡婦	1									1				
南足柄市	母子	19			1						9	8	1		
	父子	2									1	1			
	寡婦														
中井町	母子														
	父子														
	寡婦	1									1				
大井町	母子	5								1	1	3			
	父子	1										1			
	寡婦														
松田町	母子	1								1					
	父子														
	寡婦														
山北町	母子	4									1	3			
	父子														
	寡婦														
開成町	母子	10									3	6	1		
	父子	1									1				
	寡婦														

